

認知症の人の心を感じて

家族が、ご近所の方が認知症になったら、どう付き合っていけばいいのだろう。

いざという時のために、前もって認知症を理解し、見守り方法、声のかけ方などを対応ができるようにしておく、気持ちの持ちようがかわってきます。

自分も、認知症の方もそれぞれ自分らしくあり続けたい。そんな思いの助けになる、認知症の方への具体的な接し方を学ぶ講座です。

point
1

座学だけではない認知症模擬演技者（SPSD）とのロールプレイから、認知症の人の気持ちを感じとり接し方を学びます

point
2

グループワークで認知症の人が安心できるように、みんなで考えます

point
3

同じ悩みや想いを持った方と会えます

2019.9.14(土) 13:30-16:30

※申込は8/13(火)～

2020.2.15(土) 13:30-16:30

※申込は1/14(火)～

※両日同じプログラムです

府中市市民活動センター プラッツ6F

9.14：第3会議室 / 2.15：第1会議室

講師 NPO法人ACT SPSPD研究会

定員 30名(先着順)

参加費 500円

共催 NPO法人ACT府中たすけあいワーカーズぽ♡ぽ/府中市

～私たちのまちに、たすけあいの輪を広げたい～

NPO・ACT府中たすけあいワーカーズぽ♡ぽ

お互いにたすけたり、たすけられたりの支えあう仕組みを作り、人それぞれの力を生かせる場を作り、また子育て・家事・介護等の無償の労働を「仕事」とするため、1996年5月に誕生しました。

現在は52名の地域住民であるメンバーが、赤ちゃんから高齢の方までのコミュニティケア（訪問サービス）と、地域の居場所「ぽぽの木サロン」「ぽぽの木カフェ」でたすけあいのまちづくり活動を展開しています。

内容

認知症プログラムの流れ

事例をDVDで見ます

座学で認知症の人との関わり方を学びます

ロールプレイを体験します

みなさんでどう感じたかを共有していきます

ACTSPSD研究会

2001年より、認知症高齢者研究・研修東京センターの永田久美子さんとの連携で、SPSDの養成に取り組み、研修や講師派遣を行っています。

認知症の人自身から気持ちを伺うことは簡単ではありません。SPSDは認知症の専門知識を持ち、認知症の人の立場に立って表現、身体の動き、表情や日常生活までの体験・感情を演じます。

SPSDを取り入れた研修や講座は専門職のスキルアップだけでなく、認知症の人の介護をされているご家族などにも役立てていただける演習方法です。

参加者の声

ロールプレイを通じて具体的に考えたり意見交換でき分かりやすかったです。

内容が具体的でよかったです。参加者が積極的で、今後もこのような機会があれば参加したいです。

自分のできていないことをはっきり認識することができました。



お問合せ

電話 042-363-1816 (NPO法人ACT府中たすけあいワーカーズぽぽ)
042-335-4537 (府中市福祉保健部高齢者支援課)

お申込

電話 042-363-1816 (NPO法人ACT府中たすけあいワーカーズぽぽ)
FAX 042-363-1823 (住所、氏名、電話番号をお書きください)
メール actpopo@oak.ocn.ne.jp

会場住所

府中市宮町一丁目100番地
(京王線府中駅南口直結)
府中市市民活動センタープラッツ6F 第3会議室



参加申込

以下の内容を TEL、FAX、メールにてお申込みください。

認知症の人の心を感じて

2019.9/14(土) 2020.2/15(土)

参加希望日 (チェックを入れてください)	
氏名 (ふりがな)	
住所	
TEL (当日連絡がつく連絡先)	
E-mail	

※お申込みの際に頂いた個人情報は、目的以外には使用しません。